

令和4年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を例示することで、材料や用具の使い方を確かめたり、教え合ったりする姿が見られ、基本的な使い方が身に付いた。 ・鑑賞活動を定期的に設定することで、互いの作品のよさを伝え合ったり、教え合ったりする姿が見られ、互いに学び合う姿勢が身に付いた。 ・学習用タブレットを活用することで、児童が参考作品のよさや技法を調べ、制作に向けて発想を広げたり、見通しをもって活動したりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材により、児童の知識・技能の習得に差が見られるため、時間内に作品を完成させることが難しい。 ・児童によって、題材の目標としている発想や構想の力に差が見られる。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習や教え合いを通して造形的な視点を理解させる場面を設定する。 ・材料や用具の使い方について、ICT 機器を活用して分かりやすく説明したり、児童に繰り返し確かめさせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表したいことを発想・構想することができるように、ワークシートを工夫したり話し合い活動を設定したりする。 ・作品などに対する自分の見方や感じ方を深められるように、学習用タブレットを活用した鑑賞活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく表現したり鑑賞したりできるように、他教科等と関連させた題材を工夫する。 ・つくりだす喜びを味わえるように、材料や用具に十分に慣れさせるための造形あそびをする活動の場を数多く設定する。